

ありが隊新聞



4月の活動報告 山本亜矢

すでにお目にかかった方もいらっしゃると思いますが、公社にありが隊が新たに2名入りまして、私も含め公社所属のありが隊が3名になりました。仲間ができて嬉しい。今後ともよろしくお願いいたします。

農林業公社にて

ネギ、唐辛子、ピーマン、ズッキーニの育苗、パプリカの定植、ズッキーニの定植、と4月はイベント盛りだくさんの一ヶ月でした。特にズッキーニは成長が早いので、育苗の段階でも一日といわず、同じ日の朝と夜で様相が違ったりするので、とても興味深く観察することができました。実がなるのも嬉しいけど、まず最初の芽が出てくれることが個人的には一番感情が動きますね。

パプリカ定植の際、マルチの穴あけに使う道具があるのですが、2年目にしてようやくと使えるようになった気がします。扱うのが難しいものではないのに、手の動きと刃の動きがチグハグして自分の中でうまく処理できておらずおかしい動きをしていたのですが、なんとか使えるように。新しく入ったありが隊の2人はなんなく使いこなしておりました。若いつて素晴らしい。というより、きっと私が不器用なだけです。



春整枝

4月に入ってすぐ名古屋山と公社の茶畑の整枝をさせてもらいました。なにせ初心者。表面ぼっこぼこ。手を変え品を変えいろいろ試しては見たのですが、やはり熟練者とは仕上がりが全然違いますね。経験あるのみ、と皆さん言ってくれるのでこれからもどんどん経験を積んでいこうと思います。

また、3月に整枝した木が芽吹いていたのを見てちゃんと育ってくれたのも嬉しい。表面はあれほど不揃いだったのに意外とちゃんと芽は出るものなんです。4キロほど収穫して練習用の手もみ茶として使う予定です。

畑作業

借りている畑にじゃがいもを植えました。公社ではじゃがいもは育てていません。実家にいたときは畑にできていましたが、あの時の私は一切手伝っていませんでした。種芋を植えるのは初めて。教えてもらったとおりにはやっただけですが、あれでいいのだろうか。植えてから芽が出るまでが個人的には一番ドキドキします。4月は雨が多かったです。なぜか3つほど穴から逃げ出した種芋があったのですが、ちゃんと植えなおしたら一応芽は出てきていて順調に育っている様子。今年はまだ試験段階ですが、最終的には販売を目指したいです。

トウモロコシ用の畝を作るのに、小型の耕耘機を一人で動かしました。刃を変えるのに時間がかかるとか、曲がるときがなるとなくうまくいかないとか問題はありますが、できることが増えるのは楽しいものです。



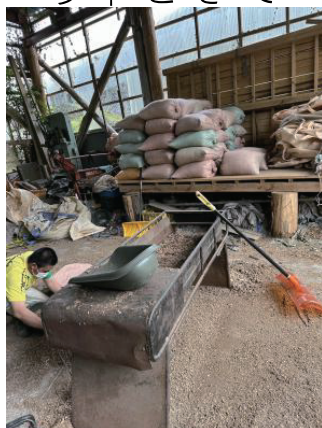
於保樹の活動報告

田んぼ

今年も田んぼの時期がやってきました。稲の育苗については、去年に比べ雨や曇天が多かったせい成長がゆっくりではありましたが焦らず作業できたので結果的には良かったです。5月に入ってから田んぼの準備で忙しい。耕起・代掻き(荒代、植代・田植え・草刈りと進めていきました。今週で田植え、草刈りの第1陣が一段落します。心がホッとしますね。植代の最終仕上げが上手くいかず凸凹してしまったり、田植えで曲がってしまったたり、畔を綺麗にできず中途半端な作業をしたりと反省点は沢山ある。で来年の課題とします。草刈りは伸びすぎないように気を付けます。去年は鹿の被害があったため要注意！水管理にも気を付けて草を抑えながら収量増加できたら嬉しいですね。頑張ります。

チップ作り

チップ作りもご協力のおかげでなんとか作り終えることができました！今年は300袋？ほど作りました。来年のチップも準備していきます。引き続きよろしくお願い致します！



チップ作り



草刈り



田植え

活動報告

菊地原克也

4月より天龍村ありが隊の一員として活動を始め、早くも1か月が経過しました。この1か月、日々信州サーモンの養殖に関わり、餌やりや生簀の管理、養殖場の整備など、様々な業務を通して学ばせて頂いています。実際に現場で働く中で、魚の様子や天候、水温の変化に気を配ることの大切さを感じており、養殖業の奥深さと難しさを実感しています。

私生活では、自宅に小さな畑を作り、家庭菜園を始めました。現在はダイコンやニンジン、スナップエンドウを育てており、それらの成長を見るのを楽しみにしています。ほぼ初めての取り組みなのでわからないことが多く、手探りの状態ですが、自分の手で育てたものを収穫できる日を楽しみに待っています。

これからも地域の皆さんとの関りを大切にしながら一つ一つ経験を積み、ありが隊として天龍村に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています！



おまつの百姓日記

松岡唯

協力隊として活動して1か月が経ちました。新しい土地で新しいことを経験したため、1日1日がとても濃く1か月がとても長く感じました。

言い遅れましたが、学生時代のニックネームは「おまつ」でした。

農作業補助

さて、今月は主に農業の基礎を学びながらの作業でした。

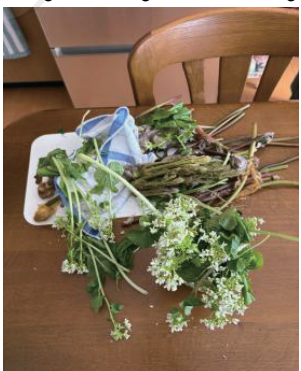
野菜の育苗を初めて目にし、天気や温度、水を与えるタイミングなど作業ひとつひとつが想像以上に繊細でした。まるで赤ちゃんの成長を見守っている気分になりました。

定植に関しては植えるまでの作業が多いなと思う反面、一から携わることで野菜に愛着が湧き、育てる楽しさを実感しました。

地域交流

休日には地域の方と交流する機会もありました。協力隊として向方地区やおきよめの湯周辺の清掃のお手伝いをさせていただきました。普段は関わらない方々と交流ができ、またひとつ天龍村を知ることもでき良い経験となりました。

★山菜も沢山食べれて幸せでした。



天龍村で協力隊としての活動が始まり1ヶ月が経ちました。今までの生活とは全く違った天龍村の自然の環境の中で、沢山の村民の方々と出会い、殆ど初めての農作業であたふたしていると、もう4月が終わっていました。

歩の歩み

(稲屋 歩)

「農林業公社」

村内には公社の畑が散在していて、初めの1週間くらいは思っている畑にも中々たどり着けませんでした。「あれ、ここを曲がるんじゃないかなかったっけ」「こっちからやと入りにくいなあ」みたいなことを何度も経験し最近ようやく道順を掴んできました。

農作業については公社で育てているピーマン、パプリカ、ズッキーニの定植や、唐辛子、ネギ等の育苗、畑の石取りや草抜き、田んぼの畦堀りと、とにかく色々やりました。思い出したらまた書きます。

野菜の成長は目に見えて早く、「え、数日でこんなに伸びるん？」と結構驚いています。

公社では人生で初めて経験する作業が多く、私自身が器用な方ではない為、失敗することもあります。まずはやってみようと気持ちで取り組んでいるところです。

5月からは田植えも始まる予定で、気温も上がってくる中、さらに忙しくなりそうですが、家の冷えたビールのことを考えながら頑張ろうと思います。